

お知らせ

平成30年3月31日

過日（3月29日）東京都より、旧耐震基準で建てられた大型建築物の耐震診断結果が公表されました。その中で、当院の西館病棟（昭和49年建築）が、大規模地震で倒壊や崩壊の恐れのある安全性の低い建物の一つとして公表されました。

当院では、耐震診断以後となる平成27年におきまして、西館病棟に対し、耐震補強工法の一つであるS R F工法（耐震被覆・補強工法）による耐震補強工事を施工しております。

このS R F工法は、建物内の柱や壁の周囲にポリエステル製の高延性材を被覆し、柱や壁のせん断強度、変形性能および軸力支持能力を向上させる耐震補強工法であり、このS R F工法を施工した建物は、東日本大震災や熊本地震でも非常に高い安全性が確認されております。

当院の西館病棟は、倒壊や崩壊の恐れはありませんのでご安心ください。

病院長